

## 2023年度 第2回 CTK 放送番組審議会 議事録

2023年12月13日

13:30～15:00

ケーブルテレビ可児 会議室

### 【出席委員】

委員長	海道 清信	(名城大学 名誉教授)
副委員長	伊藤 佳林	(可児市 NPO 協会 職員)
委員	今井 悠一朗	(可児青年会議所 直前理事長)
	大脇 慶二	(株式会社サカエ屋 代表取締役)
	田中 由美子	(御嵩町総務部企画課秘書広報係 主査)
	細野 裕子	(中山道案内人倶楽部 前会長)
	水野 英由子	(可児市市政企画部広報情報課広報統計係長)

(敬称略、五十音順)

### 【CTK】

	谷口 公一	(代表取締役社長)
	石川 浩紀	(取締役兼 ICT ソリューション部長)
	長尾 武彦	(メディアサービス部長)
	岸野 直美	(メディアサービス部メディアグループ長)
	丹羽 俊一	(メディアサービス部メディアグループ) (記録係)

### 議事

#### (1) 視聴番組についてのご意見・ご感想

##### ① 「わぁかーず【workers】(チーズ職人)」

放送日：2023年8月16日～22日

##### ② 「わが家のペット(亀)」

放送日：2023年9月27日～10月3日

##### ③ ニュース特集「川合耀祐～可児から続く俳優への道～」

放送日：2023年10月4日～10日

##### ④ ニュース特集「知ってほしい私の病気 共和中学校2年生 故東来宝さん」

放送日：2023年11月29日～12月5日

## ①「わあかーず【workers】(チーズ職人)」

事務局：仕事内容やその人の思いを伝える番組です。それではご覧ください。

### <視聴ご意見>

委員長：紹介されているチーズを食べてみたいと思えるような番組でした。映像もすごく上手に撮れていて、この方の思いも聞けて良かったと思います。また、ナレーションが分かりやすく親しみやすい印象でした。番組の作り方として良かったです。

事務局：この番組は2人が交代でナレーション読んでいます。今回は「かにみた！」MCの井澤が読んでいます。

委員長：映像を見てチーズを買いに行きたいと思ったのですが、お店の場所などの情報は紹介しないのですか。

事務局：番組ではホームページの紹介しかしていませんが理由がありまして、店舗販売をしていません。ホームページから購入できるのでその情報を入れてあります。

委員：どうやってこの人を見つけたのですか。

事務局：以前、この番組でイタリアンレストランのシェフを紹介したことがありまして、そのお店がここのチーズを使っているということで紹介してもらいました。

委員：可児に長いこと住んでいますが、このような人がいるという情報が入ってこないのが番組を通して知ることができて、すごく嬉しかったです。

委員長：可児にはいろんな食材があると言っておられて、食が地域の魅力の1つになっていると感じました。このような人がどんどん可児に住んでくれるといいなと思いました。

## ②「わが家のペット(亀)」

事務局：1分程度の番組です。

## 〈視聴ご意見〉

委員：かわいかったです。

委員：ペット用のオムツを履いていたと思いますが、私はペットを飼ったことがないので分かりませんが、それがマナーみたいになっているのでしょうか。私は見えていてかわいそうだなと思いました。

事務局：普段は犬や猫を紹介することが多いのですが、このようなペットも紹介していると知ってほしかったので今回取り上げました。視聴者からの反響も多かったです。

委員長：爬虫類とかいろんなペットを飼っている人がおられると思いますのでいろいろと見てみたいです。

委員：自分が飼っているペットを見てほしいという人が多いのですか。

事務局：自身は映りたくないなどの理由からなかなか希望者がいないのが現状です。

委員：私が飼っている猫が出演したことがあるのですが、携帯電話のカメラを横向きで猫を撮影するのがすごく難しかったので、この亀さんは場面をしっかりおさえて何をしているか分かるように綺麗に撮影していると思いました。

事務局：飼い主の方が撮影する場合とカメラマンが家にお邪魔させていただいて撮影する場合があります、今回はカメラマンが撮影しています。

委員長：「紹介したいペットを募集しています」という事は番組の前後で言っていますか。

事務局：今は視聴者アンケートに「ペットを紹介してもいいですか」という質問を入れてまして、承諾いただいた人に取材依頼しています。

委員長：年間でどれくらい紹介するのですか。

事務局：月2本なので年間24本です。

## ③ ニュース特集「川合耀祐～可児から続く俳優への道～」

事務局：弊社の制作スタッフの中で若手スタッフの種田が制作した特集です。

## <視聴ご意見>

**委員長**：2009年の映像がありましたが、14年前の映像が残っていたということですね。ケーブルテレビ可児が撮影した映像は全部残っているのですか。

**事務局**：放送した映像は全部残っています。ただし、最初の頃はテープに記録していたので、30年たつとききれいに再生できないものもあります。これは業界全体の課題にもなっています。テープの状態では放送に使えないので、まずデジタル化するという作業を行い、今回の特集のように番組に使います。

**委員長**：テープで保存してある映像は検索できるようになっていますか。

**事務局**：なっていません。紙のリストで管理しています。ニュースなどは毎日放送していたので大量のテープがあり探すのが困難です。

**委員長**：映像の価値というのは時間がたてばたつほど重要です。今はケーブルテレビ可児という会社の組織の中で使われている映像ですが、地域にとってはすごく財産になるので将来的に社会に還元できるといいと思います。また、30年の間にたくさん作られた番組があると思うので、昔の番組を放送する番組があってもいいと思います。

**事務局**：現在放送している番組の中に「CTK懐かしの映像」という番組があります。これは過去に放送した番組を再放送する番組です。元々は10分程度の枠でニュースを2,3本放送していましたが、今年は開局30周年ということで枠を30分に拡大してニュースだけでなく、子どもたちのクラブ活動などたくさんの方が出演した過去の番組を入れています。「CTK懐かしの映像」は10年ほど前から放送していて、毎年視聴者にアンケートをとっていますが、すごく人気で評判がいいです。

**委員長**：他に感想はありませんか。

**委員**：種田さん自身で取材したことなので、スタジオでのまとめのコメントについてより視聴者の心に響く言葉で話していたことが感動しました。

**委員長**：舞台の映像は特別に撮影しているのですか。

**事務局**：はい。可児市文化創造センターと文学座の許可をいただいて撮影しています。

**委員長**：上手に撮影していてアップの映像も良かったです。川合さんの魅力や生き方が出ていて良かったです。

**委員**：今回の映像を見て、子どもや若者が夢を追って進むことができる環境を地域でつくってあげたいと思いました。

#### ④ ニュース特集「知ってほしい私の病気 共和中学校2年生 故東来宝さん」

**事務局**：こちらも若手スタッフの梅田が制作した特集です。

#### <視聴ご意見>

**委員**：故東さんはすごい勇気のある行動をされたと思いました。それを上手に取り上げたとします。こういうことを知るきっかけとなったのが良かったです。今回視聴した全ての番組の題材が素晴らしい。

**事務局**：故東来宝さんご本人から「私を紹介して欲しい」という内容の手紙が届きました。CTKだけでなく新聞社にも送っていたそうで、新聞でも取り上げられました。

**委員長**：新聞は写真と文字ですが、ケーブルテレビ可児は映像が中心になるので映像の力は取り上げ方が難しいですね。企画を立てて大学や社会人など何年後かを追跡取材しても面白いですね。

**委員**：きちんと記録して映像を残すという来宝さんのお母さんの記録のまとめ方が、来宝さんへの愛おしさとして伝わりました。そして、母の凄さを感じました。また種田さん同様に、梅田さん自身で取材しているのでスタジオのコメントで心に響く言葉を発していました。

**委員長**：最初タイトルだけ見た時に、気持ちが沈みそうで見たくないと思いましたが全然違って、前向きに生きる様子が伝わってきたので良かったです。

**委員**：少し前に故東さんが民放で取り上げられていたのを見ましたが、民放は病院の先生が大きな病院の先生でしたが、ケーブルテレビ可児は地元の歯医者さんだったのでケーブルテレビ可児っぽさが出ていて良かったです。

**事務局**：取材できる範囲に限りがありまして、今回は冊子以外に何を映像として出せるか悩

ましいところでした。その中で梅田が考えたのは、来宝さんが同じ病気を持つ人などにアンケートを取ったので、回答が来た人の中から出演していただける人を紹介していただき出演してもらいました。どのように工夫するかが制作者の腕の見せどころです。

**委員長**：500人に1人の病気ということで、可児市は10万人なので他にも多くの方が同じ悩みを抱えているかもしれないし、それ以外の病気がある人もいると思うので、そういった人たちが勇気が出るようなメッセージを番組で発信することも大事だと思いました。

## (2) CTK 11ch・12ch の番組全般についてのご意見・ご感想

**委員**：CTKアプリのダウンロード率はどうですか。

**谷口社長**：想定している数には届いていません。

**委員**：アプリのサービス開始は今年の4月からでしたか。

**谷口社長**：はい。その通りです。2024年3月末までの1年間で3,000ダウンロードを目指しています。

**委員長**：ダウンロードすると番組が見られるのですか。

**谷口社長**：ケーブルテレビ可児の加入者は主要な番組は全て視聴できます。加入していない人は冒頭30秒だけ視聴できます。

**事務局**：他にもアプリでは可児市・御嵩町のイベント情報をカレンダー形式で見ることができるので、お出かけの参考にさせていただきます。あとは防災情報もまとめてご覧いただけますので地域の情報が1つのアプリで見られる点では便利だと思います。

## 報告事項

### (1) 番組基準の改定について

**事務局**：前回の審議会でご様に改定案について審議いただきました。その際にいただいたご意見を反映し改定しました。

※8月1日付で改定した番組基準の資料を配布。改定内容について説明。

## (2) 12chの年末年始特別編成について

**事務局**：皆様のお手元に2023年12月と2024年1月の番組表をお配りしました。

年末年始は通常と編成が少し変わっています。

また、12月16日にヨシヅヤ可児店で公開収録を行いその様子を年始番組として放送します。

※2023年12月と2024年1月のリーフレット、公開収録のチラシを配布し紹介。

## (3) 番組に対する苦情と対応について

**事務局**：前回6月に審議会を開催して以降、本日までの間に総務省に報告が必要となる放送事故はありませんでした。

次回の放送番組審議会の開催は、来年3月を予定しております。

本日はご出席いただきありがとうございました。